

「尿路上皮がん患者の診断時背景因子と初期治療および治療経過に関する実態調査研究」へのご協力をお願い

— 2017年1月1日～2019年12月31日の間に
当科において腎盂・尿管・膀胱がんの治療を受けられた方へ —

1. 研究の概要

1) 研究の意義

尿路上皮がん（腎盂・尿管・膀胱がん）は近年増加しています。腹腔鏡下手術や新しい薬剤など様々な治療方法が行われるようになってきましたが、以前より患者さんの背景や治療経過が複雑で個々の患者さんに応じた治療の必要性が指摘されています。

そこで、現在どのような治療法が実際に行われ、その結果どのような治療効果を認めているかなどの実態を把握することは大変重要な事です。

2) 研究の目的

尿路上皮がんと診断された患者さんの年齢や診断された時点での状態を調査し、どのような病気の状態の時に最初に行われる治療が何か、研究期間中の患者さんの状態がどうだったかをまとめることを目的にしています。

本学においてデータの収集および解析を行います。

2. 研究の方法

2017年1月1日～2019年12月31日の間に当院において尿路上皮がんの治療を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに診断された時の状態や尿路上皮がんそのものの性質を示す検査結果および治療内容のデータを選び、がんの治療に影響する患者さんの状態に関する分析を行い、治療をどう選択されるか、治療によって患者さんの状態がどう変化したかについて2030年3月31日まで10年間にわたり調べます。

1) 使用する試料・情報

本研究では試料(血液、体液、組織、細胞、排泄物等の人の体から採取されるもの)は扱いません。

研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、あなたの個人情報には削除し、匿名化して、個人情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- 年齢、性別、家族歴、既往歴
- 尿路上皮がんの診断時の情報（画像診断結果、病理組織診断結果など）、診察所見、治療内容、血液検査データ、調査時点（登録後から1年経過毎に10年間）での患者さんの状態。

2) 情報の保存

本研究に使用した情報は、研究終了後10年間保存させていただきます。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、当教室のホームページに研究内容を掲示します。

3) 情報の保護

患者さんの情報は、セキュリティ管理が施されたサーバー上で、ID・パスワードを用いて厳重に管理します。

3. 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申出ください。

この研究では個人情報を扱いません。

この研究ではあなたのデータを個人情報がわからない形にして収集します。研究の結果は、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

4. あなたの情報の使用を望まれない場合

あなたの情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、平成32年3月31日までの間に下記の連絡先までお申出ください。

この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

※この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

【 本研究の観察研究代表者および研究事務局 】

「尿路上皮がん患者の診断時背景因子と初期治療および治療経過に関する実態調査研究」
研究事務局

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 広島大学大学院 医歯薬保健学研究院 腎泌尿器科学

「尿路上皮がん患者の診断時背景因子と初期治療および治療経過に関する実態調査研究」
プロジェクト

研究代表者

松原 昭郎

広島大学大学院 医歯薬保健学研究院 腎泌尿器科学 教授

<お問い合わせ・連絡先>

広島大学大学院 医歯薬保健学研究院 腎泌尿器科学

教授 松原 昭郎（研究責任者） 亭島 淳（研究担当者）

電話：082-257-5242 FAX：082-257-5244